

令和2年度 朝霞市立朝霞第十小学校 学力向上プラン

<学校経営方針>

1. C から始める PDCA の検証改善サイクルに沿って、現在の教育の重要課題を重点化し、不易と流行の視点から教育活動を推進する。
2. 学校教育目標の具現化に向けた各種教育活動や取組は、目標やねらいなどねらい等原点に立ち返って見直し・改善を図り、当たり前のことを当たり前に継続し、よりよい校風と伝統を構築する。
3. 社会に生きる「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体、自立する力）を身に付けた児童を育成する。
4. 地域の宝である子供を真ん中に据え、コミュニティスクールへの移行を視野に、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開する「地域とともにある学校」を目指す。
5. 学校を取り巻く環境が変化の中で、「安心・安全な学校」づくりを推進するとともに、「子供たちが通いたい学校」・「保護者が通わせたい学校」・「教職員が働きたい学校」づくりを推進する。
6. 教職員のライフステージに応じて、意図的・計画的に一人一人の資質・能力の向上に努めるとともに、風通しがよく、教職員一人一人が居甲斐・やり甲斐・働き甲斐のある職場づくりを進める。

<学力に係る児童生徒の実態・特徴> (県・全国調査や日常の指導より)

1. 県や全国学力学習状況調査では、県や全国平均を概ね上回っている。
2. 学力や意欲に差があり、個別の支援を要する児童が各クラスに一定数存在している。
3. 相手や目的に応じて自分の考えを書いたり話したりする力に課題がある。
4. 伝え合う活動では、発言が一部の児童に限られていることが多い。
5. 難しい課題にもあきらめずに粘り強く取り組もうとする態度に課題がある児童が多い。
6. 自分の考えを書く力が弱く、自分の考えをまとめることが苦手な児童が多い。

<本校の児童に身に付けさせたい学力>

- ①基礎的基本的な知識・技能 (学習規律含む)
- ②知識・技能を活用するための思考力・判断力・表現力 及び、聴き合い、伝え合うコミュニケーション能力
- ③主体的に学習に取り組む態度・意欲

<学力向上の手立て>

- ①意図的・計画的に授業を展開し、基礎基本の定着を図る学習活動を行う。【基礎的基本的な知識・技能】
- ②意見の交流や説明の場の設定など、言語活動の充実を図る学習を行う。【対話的な学び】 【深い学び】
- ③見通しと振り返りを意識した学習、体験的・問題解決的な学習を行う。【主体的な学び】 【深い学び】

<各教科等の授業改善の手立て>

- 【国語】①モジュールの時間等を活用し、漢字の読み書き、音読・朗読・暗唱、要約、書写、読書、語彙を増やす活動を計画的に行う。
- ①目的に応じて、どのような情報が必要なのかを明確にして読む(聞く)ようにする。
 - ②相手や目的を明確にし、どのように話す(書く)と伝わりやすいか考えて話す(書く)活動を充実させる。
 - ③単元及び本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【社会】①③調べた社会的事象と覚えなければならない事柄を関連付けた学習の振り返りを行う。
- ②社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を充実させる。
 - ③単元及び本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【算数】①意図的・計画的な繰り返し学習を設定し、TT や少人数指導を通じた個に応じた指導を行う。
- ②自分の考えを言葉や図などで表現させるとともに、相手に伝わるように説明する学習を充実させる。
 - ③体験的・問題解決的な学習、並びに見通しと振り返りを意識した学習を行う。
- 【理科】①観察・実験等の手順を確実に身に付けさせるとともに、知識の定着を図るための学習を計画的に行う。
- ②③仮説の妥当性を検討したり、観察・実験の結果を分析し、整理して、考察・表現したり、改善策を考えたりする活動を充実させる。
 - ③自然の事象・現象や学習後の新たな疑問を生かして問題を設定し、考えた仮説をもとに結果の見通しをもたせた上で、観察・実験等を行う。
- 【生活】①②③活動や体験を振り返り、そこから学んだことや考えたことを書き、交流する活動を充実させる。
- ③本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【音楽】①音楽のよさや美しさを感じ取りながら、思いや意図をもって表現する活動を充実させる。
- ②聴き取ったことや感じ取ったこと、自分の思い等を言葉で表し、交流する活動を充実させる。
 - ③本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【図画工作】①様々な表現方法を身に付ける活動や、それぞれの作品の表現のよさを感じさせる活動を充実させる。
- ②互いの活動や作品を見合いながら、感じたことや考えたことを伝え合う活動を取り入れる。
 - ③本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【家庭】①学んだことや習得したことを活用する活動を充実させる。
- ②③学習活動や体験を振り返り、そこから学んだことや考えたことを書き、交流する活動を充実させる。
 - ③日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【体育】①練習方法や活動の場を工夫し、基本的な動きや技能を身に付ける活動を充実させる。
- ②互いの動きを見合いながら、感じたことや改善点を伝え合う活動を取り入れる。
 - ③本時の学習の目的や課題を明確にし、活動への目的意識や見通しをもたせる。また、学習を振り返り、次時の目標を設定させるようにする。
- 【外国語活動・外国語】①外国語の音声リズム、アルファベットに慣れ親しむ活動を充実させる。
- ②③実際に外国語を聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くことを通してコミュニケーションを図る楽しさを体験する活動を充実させる。
- 【特別の教科 道徳】①終末場面で自己を見つめる活動を充実させる。
- ②対話を中心としながら、多面的、多角的に考えさせる。
 - ③みんなで解決したいと思える課題や問いをもたせ、振り返りにつなげるようにする。
- 【総合的な学習の時間】①③問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく探究的な学習を行う。
- ②他者と協働して課題を解決し、互いに交流する学習を計画的に行う。
 - ③学習の目的や課題を明確にし、活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【特別活動】①合意形成したことや自己決定したことを、どう実践していくのかを考える時間を確保する。
- ②相手の立場や考え方を尊重したうえで自分の考えを伝え合う活動を充実させる。
 - ③課題や議題を児童が自分のこととして捉えられるものにする。
 - ④キャリアパスポートの取組を通して、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける。

<学校研究(国語)より>

【研究主題】

「自分の考えをもち、相手にわかりやすく表現できる子の育成」

～目的意識をもち、適切に書くことができる指導法の工夫～

【研究仮説】

- ・目的意識を持たせることで、表現する意欲が高まり、自分の考えをもたせることができるのではないかと。
- ・表現方法の指導を工夫することで、児童が適切に表現することができるのではないかと。

<授業以外の取組>

○学習環境の整備

- ・教材・教具の工夫
- ・学習ルール・みんなの約束・生活目標等の掲示
- ・ICT 機器の効果的な活用

○読書活動の充実

- ・ボランティアによる読み聞かせの充実
 - ・児童や教師へのアンケートを活用した本の購入
 - ・図書館まつり(十小絵本大賞・先生のおすすめの本の紹介)の実施
- ### ○人材活用の推進
- ・小学校低学年補助教員、あさかスクールポーター、学校図書館ポータルスタッフ、小学校専任外国人講師、学校応援団、学生ボランティア等の活用推進
 - ・ステップアップ教室(金曜5校時終了後の算数を中心とした学習指導)の充実(3年生)
 - ・授業支援(学校応援団による授業のサポート)の充実(3年)
- ### ○教職員の資質向上
- ・学校課題研究の推進
 - ・一般研修の計画的実施

<家庭との連携>

○家庭学習の工夫

- ・音読カードの活用
- ・家庭学習の手引きの活用
- ・10分×学年+10分の習慣

○家庭との協力

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・生活の振り返りアンケート(ニコニコの日アンケート)の実施
- ・体力チャレンジカードの実施